

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	橋本市立 恋野小学校	中下 小夜
学校所在地		
〒 648-0022 tel 0736 (32) 1355 fax 0736 (32) 1366 e-mail koino@hashimoto.ed.jp		
担当者名		役職名・担当教科
大城 裕規		教諭・6年生担任
<p><b>〔学校の概要〕</b></p> <p>本校は、霊峰高野山の麓、和歌山県の北東県境に位置する橋本市にあり、北側には一級河川「紀ノ川」が流れている。また、県道の南側にある一段高くなった河岸段丘的な平地に田畑が多く、民家が点在している。地域の産業の約半数の家が農業に従事しているが、専業農家は少なく、ほとんどが自給的農家である。</p> <p>『命を大切にし、自他を認め「生きる力」を育む教育を実践する。』を基本方針とし、知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成を目指し教育活動を行っている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6 年生 10 名	職員 2 名	本校、高野山
実践研究テーマ		
世界文化遺産の見学や学習を通して、郷土の歴史や文化に対する興味関心を深めるとともに、郷土愛をはぐくむ。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	世界遺産を調べよう	
〔キーワード〕 世界遺産学習 郷土愛		
<p><b>〔単元目標〕</b></p> <p>①世界遺産について調べたことをまとめる事ができる。</p> <p>②実際に高野山を訪ね、身近なところに素晴らしい世界遺産があることを実感することができる。</p> <p>③世界遺産を自分たちで守って行こうとする心情を育て、自分たちができることは何かを考えることができる。</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体	時間	（「 」 時間 ）
<p><b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b></p> <p>和歌山県世界遺産センター …… 次世代育成事業 世界遺産入門</p> <p>和歌山県世界遺産マスター …… 高野山現地学習</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	○世界遺産について知ろう ・「世界遺産」について伝え合おう	・世界遺産について知っていることを発表し、伝え合い情報交流させる。 ・図書室の本やインターネット、新聞等を活用して世界遺産について調べさせる。	発言・観察 ワークシート
2	○世界遺産について調べよう	・図書室の本やインターネット、新聞等を活用して世界遺産について調べさせる。 ・調べたことをまとめさせる。	発言・観察 ワークシート・ノート
3	○世界遺産を訪ねよう ・高野山に行き、世界遺産にふれよう	・世界遺産について話を聞いたり、高野山の奥の院や弘法大師御廟をお参りしたりして世界遺産についての理解を深める。 ・和歌山県の世界遺産について学習し、ふるさとを大切にする心をもたせる。	発言・態度
4	○学んできたことをまとめよう	・世界遺産について、また、世界遺産を受けつぎ守ってきた人々について、気づいたことや考えたことなどを、新聞やパンフレットづくりなどでまとめさせる。	ワークシート
5	○感じたことや考えたこと、分かったことなどを伝え合おう。	・自分が感じたことや考えたことが伝わるようにまとめ、発表させる。 ・友達の発表で気づいたことなど、感想を伝えあわせる。	発表・態度
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>成果・・・入門講座を受講し、ふるさとの世界遺産について学べたことの意義は大きい。ふるさとを大切にする心が育った。また、実際に「高野山」を歩いたり、世界遺産マスターの方々のお話を聞いたりすることで、興味関心がふくらみ楽しく学ぶことができた。特に、世界遺産マスターの方々のお話は、具体的でユーモアを交えた語り口調で「高野山」の歴史や雰囲気などを伝えていただいた。子ども達は口々に「おもしろかった」「勉強になった」と感想を述べていた。</p> <p>課題・・・事前学習で、「高野山」の世界遺産について一斉学習の中で触れることが少なかった。和歌山県や橋本市の世界遺産についてももう少し時間をかけておけば、現地での学習が深まり「ふるさと学習」に繋がっていくように思う。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土愛を育むためには、和歌山県の「世界遺産」を訪れる意義は大きかった。また、世界遺産入門の講義を受け、高野山奥の院などを実際に歩くことで興味を持って学習することができた。弘法大師や様々な高野山の歴史はもとより、有名武将のお墓を見学し歴史に興味を持った児童も少なくない。</li> <li>・郷土にある世界遺産について伝えていきたいと強く感じ、ふるさとを大切に思う心が育った。</li> </ul>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>・現地を訪れて、そこで見聞きし感じた事は教室の学びでは味わうことができない価値あるものだった。本物を通して学ぶ事は子ども達の心を揺さぶり次への学びに繋がっていく大切な事と考える。</p> <p>現在も「世界遺産」守り、伝えようとしている方達の願いや思いを知り、自らも世界遺産に興味関心をもち守って行こうとする態度を育てていくことが大切である。</p>			

## 様式 2

平成28年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

### 【事前学習】

- ・インターネットや図書の本等で「世界遺産」についての調べ学習を行う。
- ・調べたものを、交流し知識を深め合う。

### 【現地学習】



- ### 【事後学習】
- ・高野山について、分かったことをまとめ発表し合う。



私は、高野山に行って、高野山のことや世界遺産の事がよく分かりました。色々なことを教えていただいて物知りになった気分でした。

奥の院には、すごく太くて、長い杉の木が数え切れないほどあって驚きました。みんなで手をつないでも届かないくらいの太さでした。長い年月を越えて奥の院に根付いていると思うと、不思議な気がしました。そして、お墓が沢山あり、感動しました。私は、紀州藩のお墓の入り口の門に「ハート型」に抜いたところがあって印象に残っています。それを見ると、紀州藩に関係のある武将のお墓だとすぐに分かりました。

私は、高野山が世界遺産に登録されていたことは知っていたけれど、詳しくは知りませんでした。また、高野山が文化遺産だということも分かりすごく驚きました。わたしは、世界遺産に登録されている高野山の近くで今、住めていることに誇りに思います。

### 【児童の感想】

私は、次世代育成事業に参加して、たくさんのお話を学ぶことができました。初めて、奥之院に行き、難しいお話もあったけど、世界遺産マスターの山根さんが詳しく分かりやすく教えてくれました。とても良かったです。町石が鎌倉時代と、江戸時代で違うということも教わりました。二つの時代の町石を比べてみると、五輪の火の部分のはねているところが江戸時代のほうが鋭くはねていることに気がつきました。もう一つ気づいたことは、気が沢山あるところで、山根さんが「何かにおいがする」と話してくれました。かすかでしたが、綿菓子のような甘いにおいがしました。「これは、桂の木」だということを教えていただきました。他にも、お墓を沢山見て弘法大師の御廟も見学しました。私は、高野山について、もっと詳しく調べて他の世界遺産についても知りたいと思いました。

僕は、次世代育成事業に参加して、世界遺産について分かりやすく教えていただいて、とても勉強になりました。僕は、前に、インターネットで高野山のことを調べましたが、写真で見るとより現地で実際に見る方が迫力があるし、写真に写っていない部分などが見られて良かったなと思いました。

あと、時代ごとに植えられている杉の木が、太くて長く「すごいな〜」と、思いました。

僕は、また、高野山に行きたいと思いました。

